

NP0を活用した地域コミュニティ助け合い機能強化事業



参考資料 2

NP0の課題解決能力を活用し、地域における助け合い活動の裾野拡大を図るとともに、困りごとを共有・解決に導く場をつくることにより、若者、高齢者、障害者等の誰もが活躍できるコミュニティづくりを促進する。併せて、助け合い活動の主体であるNP0、コミュニティの育成を図る。

現状・課題

コミュニティ

潜在的参加者



- ・担い手不足、参加者減少
- ・コロナによる活動停滞

参加したいが、どうしていいかわからない…

既存グループに参加するハードルが高い…

事業イメージ

活性化

NP0の課題解決能力を活用

コミュニティ

委託先NP0

・助け合いプログラムの実施

協働

地域住民

参加拡大

潜在的参加者

無関心層

交流サロンで
困りごとの共有・解決

できることは地域内で解決

協力NP0等

⇒連携による育成効果

R4: 助け合いプログラムの実証実験・モデル化

1 地域課題を把握・共有する仕組みづくり

- 住民が困りごとを相談・共有できる場の創出、運営
- 解決できる個人・団体の発掘、新たな活動の企画
- 必要に応じた行政、支援機関等への仲介

2 助け合い活動の裾野拡大プログラムの検討・実施

- 地域における助け合い活動の状況把握
- 潜在的参加者の意識調査
- 若者、高齢者、障害者等をターゲットとした裾野拡大プログラムの検討・実施

⇒ 横展開のための検証・モデル化・レポート作成

<事業効果>

- 助け合い活動の参加者拡大、多様な主体との連携によるコミュニティの活性化、次代を担う人材の育成
- 新たな取り組みによるNP0の能力向上
- 横展開による誰ひとり取り残さない社会の実現

<R5、R6年度事業展開>

- モデル事業の磨き上げ（他地域での実証）
- 横展開の取組強化
 - ・コミュニティ協会会員への補助事業化
 - ・協働推進大会、ぽぽらセミナー、コミュニティ協会総会、等による事例発表
 - ・ぽぽらHP、情報誌等への取組掲載